

SHIRAKOBATO

しらこぼと



2001. 1

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD

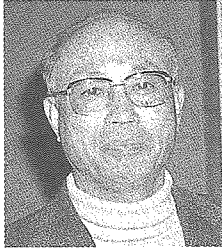


NO. 201

日本野鳥の会 埼玉県支部

謹賀新千年紀

鈴木忠雄顧問



新年おめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

現在の日本野鳥の会埼玉県支部は、昭和59年（1984年）に故今井昌彦氏を初代支部長として新支部として発足いたしました。創刊号を読みかえしてみると、その年の5月20日までに入会手続きを済

松井昭吾顧問

2001年

明けましておめでとうございます。

奇しくも『しらこぼと』本年の1月号は新世紀を祝福するかの如く No. 201となりました。埼玉県支部発足から実に色々と苦難の道もありましたが、皆さんのご努力の結集により着実に発展して参りました。改めてご協力に深謝致します。

私も支部長として1992年8月より6年間に任じましたが、その間「親しみ易い埼玉県支部」をモットーとして「誰でも入会できる会」の印象を作り上げ、会員数も当初の1960人か

中島康夫支部長

新年、明けましておめでとうございます。

新しい世紀を迎えるにあたり、どなたもが平和でおだやかに、人間も自然界も共存していけることを望んでいると思います。

当支部も、今年で満17年を迎えます。会員数約3000名、探鳥会年約100回、その他さまざまな活動をしている大きな支部に成長しました。『しらこぼと』も創刊号より毎回休みなく発行し、当号で201号を数えています。これら全てが、会員の皆様全員のご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。

これからも地域社会から多種多様な活動が

2001年1月201号をお届けします。この節目もよい新年にあたり、歴代の支部長（顧問）と現支部長から新年のご挨拶を申し上げます。

ませられた方が255名と記されております。

以来、支部は順調に発展の一途をたどり、現在では会員数約3000名を擁する大支部に成長いたしました。これも会員一人一人の皆様のお力と確信しております。

まことに力強い限りです。また、発足当時の支部活動に携わった者の一人としても喜びにたえません。

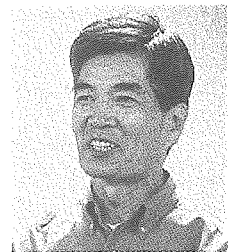
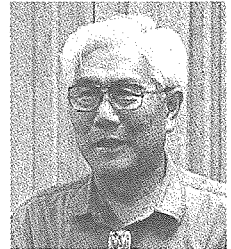
埼玉県支部が益々発展すると共に、皆様のご健康をお祈りし、大いに探鳥を楽しんでくださるようお願いして、新年のご挨拶といたします。

ら3087人にまで上昇しました。こうして底辺を拡大して多くの方に自然の素晴らしさを実感していただき、身近な野鳥を愛しそれがごく自然のうちに「自然保護」に成長してゆくの願っていました。

21世紀と共に、諸々のハイテクを駆使する若く有能なスタッフと全会員のご協力で、当支部の益々の発展を祈願します。

求められると思います。特に、小中学校からの総合的な学習関連の指導依頼が増えます。これも、役員、リーダー、会員の皆様の協力に対応していきましょう。

昨今、自然とのふれあう時間をもつことが、最高のぜい沢と感じる人が増えています。野鳥との出会い、人との出会いを大切にしていこうではありませんか。



シラコバト見つけ隊調査中間報告

2000年1月から始まったシラコバト生息分布調査は1年が過ぎ、折り返し点に達しました。大勢の方から観察報告をいただきありがとうございました。皆様からの報告から、生息分布がおぼろげながら見えてきたようです。

1年間の観察報告は次のような数字で表わされます。(2000年11月30日現在)

観察報告数 682件

報告者数 72名

報告エリア

第2次メッシュ 23メッシュ

第3次メッシュ 243メッシュ

第2次メッシュとは1/25,000地形図の1枚分(9.2km×11.2km)に当たり、単純計算で2,370平方キロに相当する広さです。内訳は「表1.シラコバト観察報告メッシュ一覧」に示します。

●シラコバトの生息分布図

観察報告メッシュを地図上にプロットしたのが「図1.シラコバトの生息分布」になります。地図上の■は1件の報告で10羽以上観察された場所、□は10羽未満の場所で、生息密度の高低とも考えられます。



度の高低とも考えられます。

薄灰色の線は河川を表していますが、「図2.1982年のシラコバト生息分布」と比較すると河川伝いに生息域を広げていったことが容易に推測できます。

●生息域の境界線

昨年の調査活動で判った生息域の境界は、西の線は綾瀬川が境界線となり草加市から蓮田市まで北上し、そこで西に折れ曲がり鴻巣市の荒川まで。荒川沿いに熊谷まで伸びて北に向かい、スポーツ文化公園を横断し利根川まで走る線となります。

北の境界は群馬県千代田町から館林市、板倉町の渡良瀬川、栃木県小山市南部まで。東は茨城県総和町から利根川沿いに南下し、柏市近辺まで。南は東京外環自動車道沿線が境界線となっています。

飛び地として、志木・富士見エリアと川島・吉見エリアが荒川の西側にあります。

本年はシラコバト見つけ隊の活動でこれら境界線付近を重点的に調査する予定です。この付近にお住まいの方も情報をお寄せください。

●シラコバトの珍しい報告

昨年の夏に支部ホームページに佐賀県鹿島市からシラコバトを目撃したというメールが入り、すぐに写真が数枚送られてきました。確かにシラコバトだったのですが、本種は飛び力が弱いので、籠抜けの可能性が大きいと

表1.シラコバト観察報告メッシュ一覧

第1次	第2次	第3次メッシュ	メッシュ数
5339	54	78,86,96,97	4
5339	55	80	1
5339	64	07,09,16,26,36	5
5339	66	29,30,36,39,46,50,51,67,77,85,86,87,91,94,95,96,97,98	18
5339	67	27,41,51,80	4
5339	73	57,89,97,99	4
5339	74	11,21,50	3
5339	75	24,34,35,37,43,47,50,52,53,54,56,57,58,59,64,65,66,78,79,88,93	21
5339	76	04,06,07,14,15,16,20,23,24,25,30,33,34,35,37,40,50,52,67,70,72,73,81,83,91	25
5339	77	05,62	2
5439	03	29,69,78,99	4
5439	04	49,52,58,61,70,71,72,76,94,95,98,99	12
5439	05	07,16,26,27,35,41,58,60,61,68,69,76,78,87,88,91,96,97,99	19
5439	06	32,43,46,50,53,54,60,80,81,84,90,94	12
5439	13	06,15,16,17,18,19,25,26,27,39,49,58,59,63,66,68,69,78,79,85,88,93,94,95,97	25
5439	14	04,10,13,17,20,22,25,26,27,32,34,41,53,54,56,57,60,68,78,79,81,82,83,92,93	25
5439	15	10,41,44,54,52,55,61,65,77,90,98	11
5439	16	02,12,14,21	4
5439	23	09,15,18,25,29,32,36,37,39	9
5439	24	00,02,03,15,17,24,28,30,35,37,38,48,49,54,57,63,69	17
5439	25	01,09,10,19,23,33,43,50,51,61,62	11
5439	34	15,18,28,33	4
5439	35	18,29,99	3
合計			243

細字：1～4羽 太字：5～9羽 斜体太字：10羽以上の観察情報

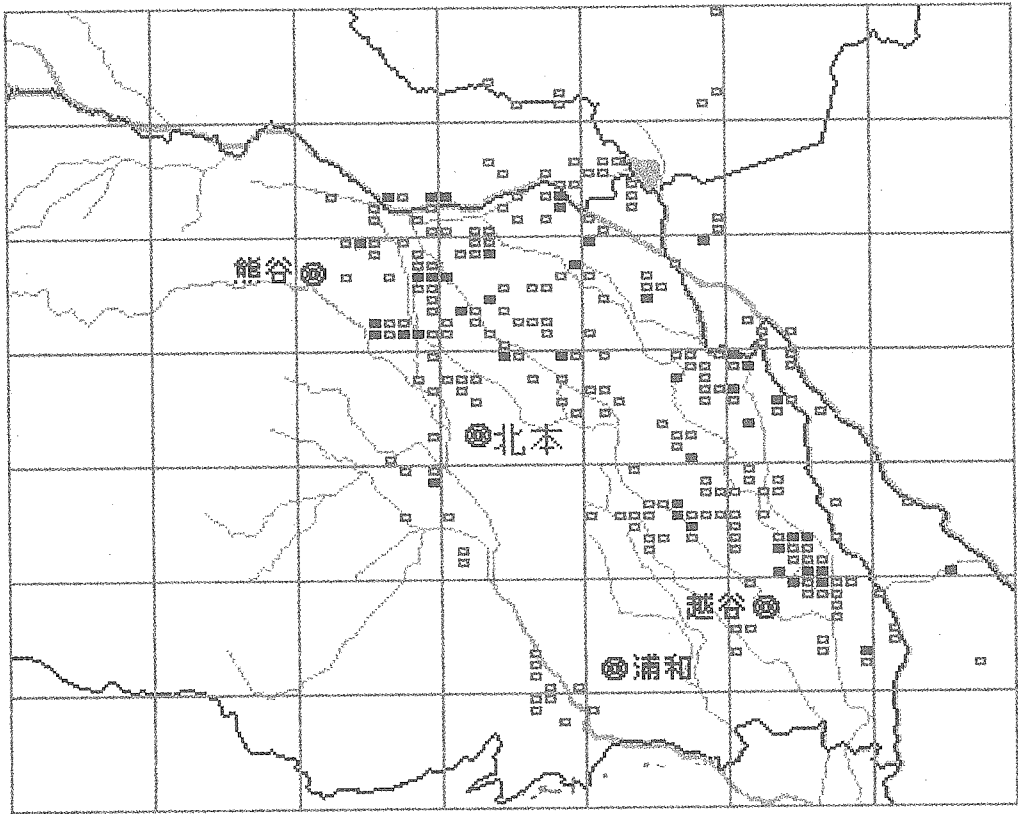


図1. シラコバト生息分布

返事をしました。

ところが、朝霞からはシラコバトの雛が流通会社の商品ケースの中に紛れ込んで配送されてきたという報告がありました。

ひょっとしたら、佐賀県のシラコバトは埼玉県からトラックでヒッチハイクをしたのかもしれない。

●集中観察週間の設定

本年も引き続きシラコバト観察報告を集めます。

また、昨年も2回実施した「集中観察週間」を今年も行いたいと思います。第1回目は1月20日(土)から1月28日(日)までの9日間です。皆様のご協力をお願いいたします。

●調査会の実施

今年は生息数推定の基礎資料とするため、生息数調査会を予定しています。場所は県西部と北部で生息密度の高い次の2カ所です。

3月11日(日) 松伏町松伏記念公園周辺

3月17日(土) 行田市古代蓮の里周辺

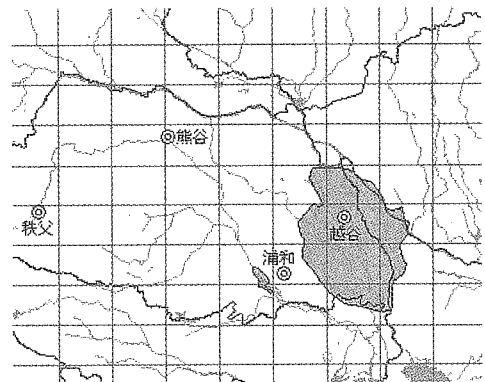


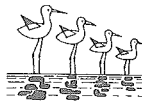
図2. 1982年のシラコバト生息分布

両日とも8時に集合し、300~500m四方程度の受け持ちエリアで、8:30から9:30まで10分おきにシラコバトの目撃数をカウントし集計します。初めての方でも是非お手伝い下さい。詳細は本誌3月号に掲載します。

[問い合わせ・報告書式の要求は]

シラコバト見つけ隊隊長・橋口長和

(報告様式は、昨年1月号と支部ホームページにもあります。)



鳥情報

戸田市道満彩湖 ◇9月2日、ハヤブサ1羽。

9月7日、ツツドリ1羽。9月18日、アマツバメ3羽、ショウドウツバメ3羽。9月23日、ヨシガモ1羽、クサシギ1羽。9月29日、アリスイ1羽、ノビタキ1羽。10月7日、ツツドリ1羽、ツミ若鳥1羽。10月14日、エゾビタキ1羽。10月15日、コミミズク1羽(高橋達也)。◇10月14日、ハジロクロハラアジサシ1羽、南から飛来し、管理橋北の筏状の機器の上にとまった。10月24日、ヨシガモ♂1羽♀5羽、エクリプス♂2羽。クロハラアジサシが北のブイに3羽。その後、飛んだ数4羽、ブイ上に1羽残り、計5羽。西側でアリスイ1羽。10月26日、釣り堀の竹ヤブでアオジ2羽、風の原っぱでオオジュリン4羽、クロハラアジサシ1羽。10月31日、カンムリカイツブリ4羽、ノビタキ2羽、ジョウビタキ♂1羽、ウグイス1羽、カシラダカ3羽。11月10日、ハジロカイツブリ1羽、セグロカモメ1羽(倉林宗太郎)。

戸田市荒川 ◇9月21日、戸田橋付近の河川敷でショウドウツバメ1羽。9月22日、アマサギ1羽、コアオアシシギ2羽、タシギ1羽。9月23日、ツルシギ1羽、クサシギ1羽。10月1日、オグロシギ1羽。10月9日、シロチドリ1羽。10月15日、オオタカ若鳥1羽。10月22日、アマツバメ1羽、ヒメアマツバメ5羽、ショウドウツバメ34羽。10月28日、ハマシギ7羽、ダイゼン1羽



(高橋達也)。

戸田市戸田公園 ◇9月28日、キビタキ♀1羽(高橋達也)。

浦和市下山口新田 ◇9月21日、見沼芝川第一調整池で水の抜かれた池の底でアオアシシギ1羽。午後1時、ミサゴ1羽。10月10日、クロハラアジサシ夏羽1羽、杭にとまったり、池上を飛び回ったりしていた。10月12日、水を抜いた池底でコアオアシシギ2羽、イカルチドリ1羽。10月19日、クロハラアジサシ冬羽2羽、ウズラシギ幼鳥1羽(鈴木紀雄)。

浦和市秋ヶ瀬 ◇10月5日、子供の森でキビタキ♀1羽が樹間を飛び回っていた。午後3時、大久保農耕地B区でチゴハヤブサ若鳥1羽、上空を飛び回り、わざとバランスを崩すような姿勢で虫を捕まえ、空中で食べていたが、失敗も多かった。すねの赤色がまだ鮮やかでなく、腹部の地色も汚白色だった。ノビタキ1羽(鈴木紀雄)。

浦和市文蔵4丁目 ◇10月12日、お屋敷の庭でセンダイムシクイ1羽(倉林宗太郎)。

浦和市辻3丁目 ◇10月13日、自宅南側のクロムクの木でメジロ2羽。10月13日、同所でセンダイムシクイ1羽。10月31日、辻なかよし公園でジョウビタキ♂1羽、今年も来ました(倉林宗太郎)。

浦和高砂4丁目 ◇10月27日、空き地の草の中で後頸部分が白化したと思われるスズメ1羽。立ち止まり観察したところ、明確に白くなっているように思われた。11月14日、6~7羽のスズメの群れ中に、ひときわ後頸部分が白くなった個体1羽を再確認(陶山和良)。

浦和市中尾 ◇10月28日、ジョウビタキ♂1羽(藤原寛治)。

大宮市日進町 ◇10月27日、林縁でキセキレイ1羽。今年も会えた(浅見健一)。

大宮市櫛引町 ◇10月27日、トビ1羽、チョウゲンボウ1羽が住宅地の上空をカラスにモビングされながら西へ飛び去った。ジョウビタキ♂1羽、まだ鳴いていない。縄張りを決めかねているのか(浅見健一)。

大宮市三橋 ◇10月27日、鴨川岸辺でカイツ

ブリ成鳥2羽、若鳥3羽。もう体の大きさは親と一緒に、まだ縞模様の顔で小魚をもらっていた。鴨川遊水池でバン成鳥1羽、若鳥1羽。親に近寄るのだが、そのつど追い払われていた。もうそろそろ、この縄張りから去らねばならないようだ。セグロセキレイ1羽、ハクセキレイ若鳥2羽、仲良く電線にとまっていた。ここは、セグロセキレイが強く、いつもなら追い払うのに、今日はどうしたのかな（浅見健一）。

岩槻市元荒川 ◇9月10日午前10時30分頃、車中から新曲橋上空でタカ sp.1羽。カラスがモビングしていた（鈴木紀雄）。

岩槻市岩槻文化公園 ◇9月18日午後1時、ツバメ、ショウドウツバメが飛び回っていた。遙か上空サシバがなぜか北へ一直線。9月29日午後3時、キビタキ♀1羽、カケス1羽。9月30日午前10時、ツツドリ1羽、キジバトを追っていた。10月4日午後1時、上空をサシバ1羽が舞っていた。エゾビタキ1羽。10月6日、午前8時前後の1時間の間にサシバ5羽、1羽目は西方上空遠くを北へ。2羽目はムクドリ集団にモビングされながら元荒川を渡って東から西へ。3羽目はすぐ上空を。4、5羽目は南側を西へ。どうやら昨夜、この辺りで一泊して、飛び立った個体がけっこういたようだ。カケス1羽。10月10日、キビタキ♀2羽がガマズミの実に来て、飛び交っていた。10月12日、ツツドリ若鳥2羽、ゴワゴワと音を立てながら追いかけていた。他にトケン類1羽、キセキレイ今季初認。10月26日、ジョウビタキ♂♀各1羽、やっと来てくれた。10月31日、キセキレイ2羽、チョウゲンボウ、オオタカ、カワセミ、カケス（鈴木紀雄）。

松伏町野田橋 ◇9月20日、河川敷のゴルフ場が水没していて、ウミネコ30羽、ヒドリガモ2羽（鈴木紀雄）。

蓮田市元荒川 ◇10月2日午後3時頃、川島橋付近の上空でアジサシ夏羽1羽、しばらくホバリングしていたが、やがて下流へ去った。黒い頭、灰色の背、羽、白い尾がよく見えた（鈴木紀雄）。

春日部市増富新田 ◇10月10日、農道脇用水草むらでノビタキ1羽（鈴木紀雄）。

川越市南古谷 ◇9月13日、タシギ、ムナグロ26羽、ジシギ sp.6羽（鈴木紀雄）。

所沢市山口 ◇10月17日、カラ混群50羽程がマンション中庭に来た。シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラ、メジロの5種。それは賑やかで、買い物帰りの足を停めてしばらく楽しんだ（小林ますみ）。

吹上町明用 ◇10月1日午前10時30分、ケリ2羽。内1羽は幼鳥と思われた。刈り取りのすんだ田んぼを行き来していた（金子昭三他吹上野鳥の会メンバー数人）。

熊谷市荒川 ◇10月7日、大麻生公園でアオアシシギ6～7羽、オオタカ1羽、ハヤブサ2羽、トビ1羽、カケス約10羽、モズ4～5羽。モズの高鳴きが大変耳につくようになってきた（後藤康夫・喜久子）。

吉見町古名新田 ◇10月9日、ノビタキ10羽、ノスリ2羽、チョウゲンボウ1羽、ハヤブサ1羽、コメボソムシクイ1羽（島田恵司）。

行田市荒木 ◇10月21日、ジョウビタキ♂1羽（島田恵司）。

渡良瀬遊水地 ◇10月22日、カモ類9種、カンムリカイツブリ、チュウヒ4羽以上、ミサゴ2羽以上、午後4時過ぎ、コチョウゲンボウ2羽が上空を高速で飛び回り小鳥を追いかけていた（鈴木紀雄）。

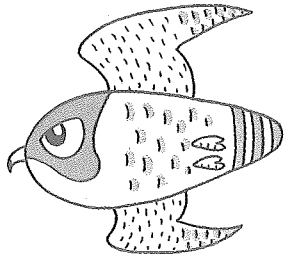
表紙の写真

アリスイ（キツキ目キツキ科アリスイ属）

北海道などで繁殖しますが、埼玉では冬鳥。近年越冬個体数が増える傾向でしたが、今冬は特に多く、彩湖西岸の管理橋北側一帯では、3～4羽観察されています。

おまけの情報 同じ地域で10月末頃から話題になっているアカモズと思われる個体は、幼鳥羽から第1回冬羽に換羽が進むにつれて、亜種アカモズではない特徴が現れてきています。もう少し継続観察した上で、後日まとめてご報告します。 海老原美夫（浦和市）

行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

浦和市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：平成13年1月3日(水)

詳細は12月号をご覧ください。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月7日(日)

集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口東武1番バス停前、集合後8:45発バスにて「高野台(たかのだい)」下車、または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

担当：吉安、中村(榮)、橋口、新井(良)、入山、松永、宮下、吉岡(明)、田村

見どころ：21世紀を迎えました。新春の内牧公園では冬鳥たちが皆さんのお出かけを待っています。タゲリ、ジョウビタキ、シロハラなどを探してみましよう。

千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：1月7日(日)

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後南口から京成バス9:40発、船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。公園には駐車場あり。

担当：杉本、佐久間、菱沼(一)、齋藤

見どころ：三番瀬で越冬するカモ類やシギ、チドリ類を観察します。ミヤコドリ、ウミアイサは常連。ミサゴが見られればフルコース。天候によっては激寒になります。それなりのご用意を。

久喜市・久喜菖蒲公園昭和池探鳥会

期日：1月8日(月・祝)

集合：午前9時30分、久喜菖蒲公園駐車場。

または午前8時50分、JR宇都宮線白岡駅西口。集合後タクシーで現地へ。

リーダーの指示で分乘してください。

担当：大坂、玉井、内田、長嶋、深井

見どころ：21世紀初頭のカモたちに会いに行きませんか。もしかして数千羽のカモの中に珍鳥のトモエガモがいるかも。アシ原にはオオジュリン、ジョウビタキも出てきて、きっと楽しい探鳥会になるでしょう。吹く風は冷たく、寒さ対策はじゅうぶんに。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月10日(水)

集合：午前10時10分、森林公園南入り口前。

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:54発バスにて、終点下車。

費用：入園料400円(子供80円)

担当：藤掛、櫻庭、中村(榮)、大坂、兼元、堀(敏)、堀(久)、石井(幸)、高橋、池永

見どころ：新春初めての平日探鳥会です。忙しかった正月の疲れをいやし、のんびりとオシドリなどのカモ類を観察したり、ルリビタキ、シロハラ、キクイタダキなどの森の鳥を探しにお出かけください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月14日（日）
集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居9：03発に乗車。
担当：和田、森本、中里、石井（博）、倉崎、松本、高橋、後藤

見どころ：21世紀大麻生の初探鳥会です。どんな鳥が出て今世紀初見参となります。寒いなんていってないで、記念すべき一日を、鳥たちと祝いましょう。カモ類、コハクチョウ、アオゲラ、それに猛禽類が期待できます。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月14日（日）
集合：午前9時20分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。
交通：京浜東北線南浦和駅西口3番バス乗り場より、下笹目行き8：45→武蔵野線武蔵浦和駅8：52→「彩湖道満グリーンパーク」下車。
担当：倉林、中村（榮）、藤掛、馬場、百瀬、有馬、森（秀）、清水

見どころ：今年は1ヵ月ほど早い開催です。道満の林で小鳥たちを、彩湖では水鳥を、空にタカ類を探して正月気分を吹きとばしましょう。寒さ対策はじゅうぶんに。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：1月14日（日）
集合：午前9時15分、東武日光線柳生駅前。または午前9時30分、中央エントランス駐車場。
交通：東武日光線新越谷8：20→春日部8：36→栗橋8：58→柳生9：08着。または、JR宇都宮線大宮8：19→栗橋8：53着にて、東武日光線乗り換え。
解散：午後1時30分頃、谷中村史跡駐車場。
担当：橋口、玉井、入山、内田、高（文）、高（剋）、田邊、中里

見どころ：年4回のうちで一番ハードな探鳥

会です。カモを見ながら谷中湖を横断し、タカ見台に向かいます。去年はハイロチュウヒやコチョウゲンボウも現われてくれました。谷中村史跡北の並木で冬の小鳥を探しながら駐車場までの約8kmの行程です。防寒対策と昼食持参を忘れずに。

吉見町・吉見百穴公園周辺探鳥会

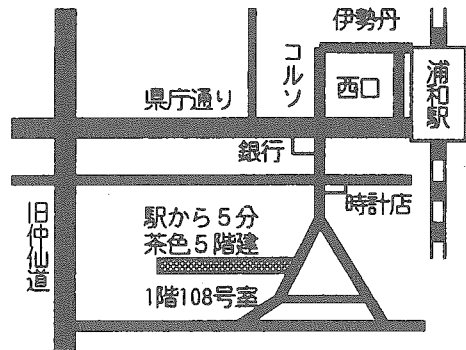
期日：1月20日（土）
集合：午前9時20分、吉見百穴公園前。
交通：JR高崎線鴻巣駅東口、中村カメラ店前より、東武バス8：40発、東松山行きにて、「百穴入口」下車、徒歩5分。
担当：榎本、岡安、内藤、藤掛、立岩、島田、今井、石井（幸）

見どころ：市野川ぞいに大沼まで歩くのんびりコース。昨年とはまた少し姿を変えた大沼にびっくり。

注意：駐車場利用者は、必ず百穴入場券を購入して、フロントガラス内側に見えるように置いて下さい。

「しらこぼと」袋つめの会

とき：1月20日（土）午後1時～2時ころ
会場：支部事務局108号室
案内：ビデオ作品を見せたい人、見たい人。生まれて初めてパソコンという物に触って見たい人……お集まりください。



浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：1月21日（日）
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東

口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、兼元、森（力）、清水、小菅

見どころ：21世紀の夜明け。見沼たんぼの未来を考える。探鳥会のベースである浦和市立郷土博物館の編集「見沼—その歴史と文化」が、さきたま出版から発売された。そんな見沼の勉強から新世紀探鳥会の準備としよう。是非お出かけください。

長瀬町・長瀬探鳥会

期日：1月21日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道長瀬駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8：17発、または御花畑9：05発（西武鉄道所沢7：44発乗り入れ）に乗車。

担当：小池（一）、佐久間、青山、林（滋）、井上、堀、堀口、喜多、小池（順）

見どころ：荒川河原から宝来島公園までの多様な自然環境の中で、毎回40種前後の野鳥が観察できます。参加者のお目当てはオシドリとヤマセミなのですが・・・今年大丈夫かな！？ 河原歩きです。足揃えはしっかりと。

大宮市・花の丘公園探鳥会

期日：1月21日（日）

集合：午前9時20分、花の丘公園バスターミナル駐車場。

交通：JR高崎線宮原駅西口より、東武バス9：00発、大宮花の丘行きにて、終点下車。

担当：高（文）、飯塚、高（剋）、有馬、松村、赤坂

見どころ：公園を抜け、雑木林や畑にくる冬鳥をゆっくりと見ましょう。昨年までの記録では、アカゲラ、オオタカができています。ちょっと期待できそうです。近くに、農家で作った新鮮な野菜や蒸し饅頭などの、即売所もありますよ。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月28日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8：42発、所沢8：36発に乗車。

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、中村（祐）、山本（真）、久保田、山本（義）、石光

見どころ：入間川での出現鳥最高記録は、97年1月の47種。たまには何種見られるかにこだわるのも楽しいかなと思えますよ。新世紀での新記録はできるかな。

野田市・清水公園探鳥会

期日：1月28日（日）

集合：午前9時30分、清水公園仁王門前。

交通：東武野田線大宮8：19発、春日部8：48発柏行きにて清水公園駅下車。徒歩約10分。

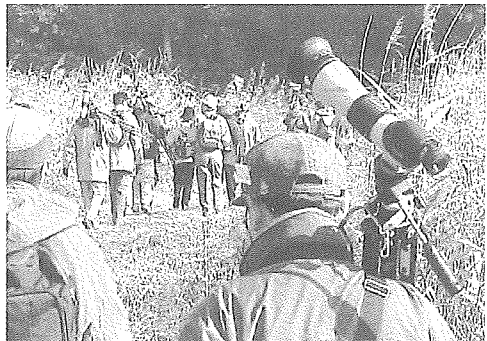
担当：中村（榮）、新井（良）、吉岡（明）、田邊、本田、大塚、小菅

見どころ：寒い季節でも小さな春は見られます。ルリビタキ、カワセミ、クサシギなども皆さんを待っていますよ。みんなで探してみましょ。暖かくしてお出かけください。

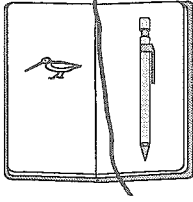
千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：1月27日（土）～28日（日）

定員に達しましたので締め切りました。



12月2日 黒浜沼探鳥会



行事報告

10月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 44人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ チウサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ オナガガモ トビ コジュケイ バン キジバト カワセミ コゲラ ショウドウトツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス (30種) 冬鳥を期待したが、まだちょっと早かったようだ。大麻生では珍しいチウサギが田圃で盛んにカエル捕りをしている様子をじっくり観察できた。随所でモズが鳴き、またコスモスが風に揺れ、心なごむ、秋を満喫の探鳥会だった。

(中里裕一)

10月9日(月、休) 浦和市 大久保農耕地

雨のため中止。

10月15日(日) 浦和市 三室地区

参加: 92人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ ヨシゴイ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ マガモ オオタカ チョウゲンボウ キジ バン クイナ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ オオヨシキリ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 三室の鳥に会う日。92名の参加者が秋の三室に集まった。そして命の交流をしたのだ。鳥たちも大サーブスで、オールキャストで登場した。セキレイの三色揃い踏み、空に飛ぶオオタカ、チョウゲンボウ。やっぱり三室の探鳥会に来てよかった。古い人も新人も互いに楽しむ探鳥会に今後も期待してほしい。

(楠見邦博)

10月21日(土)『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 12人

荒木恒夫、伊藤泰一郎、海老原教子、大坂幸男、志村佐治、橋口長和、福井昭子、増尾隆、松村慎夫、百瀬修、山野豊、渡辺嘉男

10月22日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 38人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ チョウゲンボウ キジバト ツツドリ カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ メジロ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 朝からどんよりした曇り空。天高き秋らしからぬ日。古墳の池でジョウビタキが紋付きの後ろ姿を見せてくれて、この秋の初見となった。暖かいためか、鳥が少ない。シメヤツグミも出ずじまいだった。カワセミはやはり人気がある。全員が見ることができ、少ない出現鳥だったがジョウビタキとともに、この日のハイライトだった。

(内藤義雄)

10月22日(日) 川越市 西川越

参加: 47人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ チウサギ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ チョウゲンボウ バン イカルチドリ イソシギ キジバト ヒメアマツバメ アマツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ ショウドウトツバメ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) どんよりとした曇り空。まずは公園の池でカワセミを探すが、声のみ。土手を歩いて川に出たところでジョウビタキ早、次にびも。柳の枝にカワセミがいる。みているとその下からカ

イツブリが雛を背に乗せて出てきた。この時季に。イカルチドリ、カワセミを見ていると、アマツバメ、ヒメアマツバメとツバメ3種が上空を乱舞。今年の暑さを実感した。(佐久間博文)

10月24～25日(火～水) 群馬県 玉原高原

参加：25人 天気：24=晴、25=曇時々雨

マガモ トビ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ウグイス コガラ ヒガラ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ マヒワ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(20種)日本有数のブナ林のある玉原。みなさん、到着して、その景色を見て、しばらく声のでないほどのすばらしい紅葉だった。快晴に恵まれ、最高の紅葉との出会いはラッキーだった。ただし、肝心の鳥の方が出てくれず、リーダーはやきもきました。それでも2日目の朝、マヒワの大きな群れが、飛んでくれた。タヒバリの10羽くらいの群れも見えた。だが、なんととってもすばらしい紅葉が一番だった。

(中島康夫)

10月29日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

雨のため中止。

11月5日(日) 上尾市 丸山公園

参加：46人 天気：晴

カイツブリ カワウ カルガモ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ コジュケイ キジ キジバト トラフズク カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種)久しぶりの秋晴れ探鳥会は、紅葉も美しく、歩いているだけで気分爽快。お目当てのベニマシコには一部の人しか会えなかったものの、他の冬鳥たちや当日早朝来たばかりのトラフズクは全員が確認でき、大満足だった。(高 文子)

11月9日(木) 栃木県 奥日光

参加：26人 天気：晴

マガモ コガモ トビ ノスリ キジバト アカゲラ コゲラ セグロセキレイ キクイタダキ

エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ マヒワ シメ ハシブトガラス(19種)開始してすぐ、光徳牧場の山際で20～30羽のマヒワの群れに出会い、冬鳥の到来を知った。途中の林では、カラ・ケラ類を多く観察でき、また湯川沿いではゴジュウカラ、キバシリを多く見ることができたが、他の冬鳥はまだの様子で、渡りが遅れている感じがした。

(櫻庭 勇)

11月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加：54人 天気：曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ トビ オオタカ チョウゲンボウ バン キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(35種)朝から肌寒く、雨が降りそうな天気だったので、参加者は少ないのでは……と思っていたらなんと54名。出発時には日差しも見えるようになった。ジョウビタキ、アオジ、シメ等の冬鳥も次々と姿を見せてくれ、渡りは順調な様子。ただ、明戸堰のカモ類はコハクチョウへの給飼に誘われて、餌場に居着き、堰近くで見られないのは誠に残念。(和田康男)

11月19日(日) 富士見市 柳瀬川

参加：69人 天気：曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ ハヤブサ チョウゲンボウ イカルチドリ タゲリ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(34種)寒い北風の中、最初にハヤブサがゆっくり旋回する姿を全員で見上げ、出発。期待のタゲリは残念ながら遙か遠くに1羽。チョウゲンボウ、ひこばえの伸びた緑の中に大小のサギ、中州のタシギ6羽の可愛い目を見られて満足の笑顔だった。(高草木泰行)

連 絡 中 長

●第24回関東ブロック協議会に出席

関東地区の1都6県で活動している9支部の代表が集まり、様々な意見交換などを行う関東ブロック協議会。今年は群馬県支部が主催して、11月11日(土)と12日(日)の2日間、同県松井田町の国民宿舎「裏妙義」で開かれました。



埼玉県支部からは、海老原美夫・藤掛保司両副支部長と倉林宗太郎幹事の3名が出席して、会員数減少の現状と対策・年少者年長者への対応・ホームページ・圏央道計画反対運動・愛鳥教育・理事会常務会などに関する報告と議論に加わりました。

2日目は、会議終了後、小根山森林公園に移動して資料館などを見学、峠の釜飯の昼食を食べて解散しました。

次回は、千葉県支部が主催します。

●臨時評議員会開催の見通し

1月に、臨時の評議員会が開催される見通しとなりました。毎年3月初めに開催される定例評議員会と合わせて、理事会常務会の動きに関する説明と対策などが検討されます。

●支部の普及活動

9月2日(土)、9日(土)、15日(祝)の3日間、浦和市立大東公民館主催の探鳥講座が開催され、支部から楠見邦博監事と倉林宗太郎幹事が講師リーダーとして参加。室内講義、見沼たんぼと谷津干潟での探鳥会に参加者は大喜び。後日、支部主催の三室地区探鳥会に参加した人もいました。

11月11日(土)深谷市立桜ヶ丘小学校の総

合的な学習の野鳥観察会に、支部から、同市在住の倉崎哲郎リーダーと倉崎淑子の2名が参加。6年3組の生徒14名と、校庭や仙元山公園でコゲラなどを観察しました。

●会員の普及活動

浦和市在住の陶山和良会員は、公民館などで、独自の普及活動を続けています。事務局には、次の事例が報告されました。

原山公民館、南浦和公民館、西浦和公民館の高齢者教室。尾間木公民館の親子バードウォッチング。毎週火曜日、西浦和小学校バードウォッチングクラブのゲストティーチャー。11月16日浦和市教育研究会でスライドによる野鳥学習指導。

●1月の事務局 土曜と日曜の予定

- 6日(土) 編集会議、研究部会議。
- 7日(日) シラコバト見つけ隊。
- 13日(土) 校正作業。
- 20日(土) 袋づめの会。
- 21日(日) 役員会議。

●会員数は

12月1日現在2,893人です。

活 動 報 告

- 11月10日(金)、11日(土)、12日(日) 12月号校正(海老原美夫、喜多峻次、山部直喜)。
- 11月16日(木) 普及部便り発送(海老原教子、楠見文子)。
- 11月19日(日) 役員会議(司会:榎本秀和、密対連シンポジウム・各団体からの署名依頼への対応・その他)。

編 集 後 記

『野鳥』誌の会員フォーラムで、本県在住の高校生が、探鳥会に同世代の参加者が少ないことを訴えていた。そのような若い世代にも魅力ある探鳥会を、もっともっと真剣に模索しなければならないと思う。某支部では、リーダーも参加者も年齢制限つきの、若い人たちだけの探鳥会があるとか。(山部)

『しらごと』2001年1月号(第201号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用